

ネット香川「EMC講習会」開催報告

◇県内企業のEMC技術向上を支援します◇

かがわEMC技術研究会(事務局:公益財団法人かがわ産業支援財団内)では、毎年、実施しているネット香川「EMC講習会」を下記のとおり開催しました。本会は県内企業のEMC技術の向上を目的として毎年上期と下期の年2回開催しており、EMCに携わっておられる技術者や、興味を持たれている方々など、多数、ご参加いただいています。

今回は、テュフラインランドジャパンおよびウルトエレクトロニクスより講師をお招きし、電気用品安全法に関する最近の動向やEMC対策部品の原理とその選択方法、かがわEMC技術研究会の古賀会長より、コモンモードの発生原理に関する講演が行われました。今回の参加者は、県内の会員企業や関係する行政機関、大学・高等専門学校や聴講を希望される県外企業などから54名の参加があり、盛況のうちに無事終了することができました。

また、講習会終了後も時間の関係で十分に聞けなかったことや疑問点を、熱心に講師に質問するなどEMCへの関心の高さがうかがわれました。

記

- **開催日時** 平成30年11月9日(金) 13:30~17:00
- **会場** 香川産業頭脳化センター 2階「一般研修室」
〒761-0301 高松市林町2217番地15
- **主催** かがわEMC技術研究会 (会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治)
- **後援** 香川県
- **協賛** ウルトエレクトロニクス、テュフラインランドジャパン(株)
- **内容**

開会挨拶 公益財団法人 かがわ産業支援財団 理事長 大津 佳裕 氏	 挨拶する大津理事長
かがわEMC技術研究会は発足して6年目を迎え、40社を超える県内民間企業の皆様をはじめ、試験研究機関、産業支援機関の会員の皆様に参画いただき、今後とも、最新のEMC技術の情報発信や課題解決に取組み会員の皆様のEMC技術の向上を目指したいと挨拶されました。	
講演1 電気用品安全法と最近の動向 テュフラインランドジャパン株式会社 製品部 電気製品課 竹矢 泳利 氏	 竹矢 泳利 氏
日本の代表的な製品安全関連法の法体系から電気用品安全法の概要、届出事業者の義務および最新の動向など具体的な事例を挙げて事業者としての注意点や消費者保護の観点から電気用品安全法の役割が益々重要となっていることなど、最新の情報をご紹介いただきました。	
講演2 コモンモードの発生原理 かがわEMC技術研究会 会長(岡山大学名誉教授) 古賀 隆治 氏	 古賀会長
コモンモード電流が発生するのは伝送路がTEMモードでなくなった場合であり、具体的には平衡線対に不平衡線対が接続されると、その境界でコモンモード電流を発生させることとなる。このような電磁気現象は全てMaxwellの方程式で説明できることを分かり易く解説いただきました。	
講演3 EMC部品応用原理及び選択 Würth Electronic Tianjin Co.,Ltd(ウルトエレクトロニクス天津) Field Application Engineer Edward Li 氏	 Edward Li 氏
EMC対策のために、EMC対策部品の正しい選択方法やその原理について、磁性材料やコイル、コンデンサ、バリスタなど、それぞれの特性や最適な部品を選定するための簡易な計算方法など、実際の設計に役立つ技術情報を詳細に解説していただきました。	